

化合物辞典

左右田徳郎・高木誠司
監　　修

共立出版

監 修

東大名譽教授・理博

京都大学教授・薬博

左右田 徳郎 高 木 誠 司

化合物辞典

附・日本名索引

編 集

東大名譽教授・理博

左右田 徳郎

名古屋工業研究所

小 玉 數 信

東大教授
薬学博士

島 村 修

東大助教授
薬学博士

高木敬次郎

東大教授
薬学博士

柴 田 承 二

お茶の水女子大助教授

塩田三千夫

東大助教授
薬学博士

藤 田 昭 弘

東大薬学博士

末 広 唯 史

共立出版株式会社

序

本書は化学や薬学を学ぶものの座右書として編集したものであるが、化学、薬学、医学等の研究や業務に従事される方々にも常備本として価値があるように心がけた。

本書のような化合物の辞典の必要は化学関係者が久しく感じていられた筈である。しかし現在までにこの種の辞典がわが国で出版されなかった訳は恐らくは、資料の選別、記述の精疎、用語の選択等、そして結局では本の大きさの点等について、編集上の判断がむずかしいためであったと思われる。

このたび、われわれ志を同じくするもの達が合議して編集の方針を定め、検討を重ねた結果、ようやく手頃な化合物辞典が出来上った。何分にも小冊子のことでもあるから、不満のところが少なくないけれども、約1万項目をかように圧縮するには苦心を重ねた小労作である点と、有用書を提供しなかったという微志を諒せられ御厚意ある御叱正と御支持を得たくここにお願いいたします。

昭和29年7月

監修者しるす

凡 例

1. 項目名の配列様式

- (1) 項目は英語名によりアルファベット順に配列した。
- (2) 各項目名の配列は、英語名（慣用名、万国名）および日本名の順序とし、日常取引で頻繁に使用せられる物質については特に商品名を附した。
- (3) 記載された英語名はすべて一項目としてかかげたが、同一物質についての性質の記載は一方所しかなく――印で示された項目に記載されている。
- (4) 日本名の索引は巻末に附してある。

2. 性質記載の様式

- (1) 性質記載の順序は、化学式、分子量、色、結晶形、融点、沸点、密度、屈折率、旋光度、天然に産出する物質については由来する天然物、溶解度、その他の重要性質、製法、用途の順とした。元素の記載もこれに準ずる。
- (2) 化学式は原則として分子式を記し、構造は別の式で示した。但し比較的構造の簡単な化合物についてはこの化学式で構造を示すようにした。
- (3) 分子量は化学式の次のカッコ（ ）内に示した。分子量の計算は1951年の原子量により小数点以下8位を四捨五入して求めた。化学式に結晶水の加えられているものは分子量にもその値が合算されている。直前の項目を参照すれば化学式、分子量の明らかなものについてはこれらを省略した。
- (4) 色、結晶形は注意すべきものについて記載した。無色結晶、無色液体は特に記していない。
- (5) 融点：[]，沸点：()，減圧における沸点：たとえば(120°，15mm)。
 d_4^{25} ：25°Cにおける密度。
 n_D^{25} ：25°CにおけるD線に対する屈折率。
 $[\alpha]_D^{25}$ ：25°CにおけるD線に対する比旋光度。カッコ（ ）内は溶媒を示す。
- (6) 溶解度は溶媒に次の記号を附して示す。 ∞ (いかなる割合にも自由に混ざる)，++(易溶)，+(可溶)，±(難溶)，-(極めて難溶)，-(不溶)。
溶媒は化学式で示すが、次の略号を用いる。Ac(アセチル)，Am(アミル)，Ar(アリル)，Et(エチル)，Me(メチル)，Ph(フェニル)，Pr(プロピル)，またアルカリ

は滴で示す。従つて例えば AcOH = 酢酸, Et_2O = エーテル, MeOH = メタノールなど。

(0.77 H_2O) + : 水 0.77 に可溶

(22cc EtOH)⁶⁰ + : 60°C のエチルアルコール 22cc に可溶

3. 文 献

(1) 各項目について, Beilsteins Handbuch der Organischen Chemie, Organic Syntheses, あるいは重要な原報を参考文献として附した。

(2) Beilsteins Handbuch は次の略号で示す。

B-VII, 636 (第4版 第7巻 636頁)

B-XI', 15 (第一補輯 第11巻 15頁)

(3) Organic Syntheses は次の略号で示す。

Org. Syn., Coll. Vol. I (Organic Syntheses 第一合冊)

Org. Syn., 20 (Organic Syntheses 第20巻)

(4) 原報の雑誌名の省略は慣用のものによる。

4. 誘 導 体

文献の次に主要な誘導体の性質を示した。

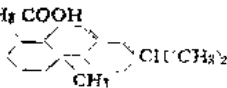
元 素 の 周 期 律 表

期 族	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	O
1	1H								2He
2	3Li	4Be	5B	6C	7N	8O	9F		10Ne
3	11Na	12Mg	13Al	14Si	15P	16S	17Cl		18Ar
4	19K	20Ca	21Sc	22Ti	23V	24Cr	25Mn	26Fe	27Co
								28Ni	
5	37Rb	38Sr	39Y	40Zr	41Nb	42Mo	43Tc	44Ru	45Rh
								46Pd	
	47Ag	48Cd	49In	50Sn	51Sb	52Te	53I		54Xe
6	55Cs	56Ba	ランタニド元 素 57-71	52Hf	53Ta	54W	55Re	56Os	57Ir
		58Hg	59Tl	60Pb	61Bi	62Po	63At	64Pt	
7	87Fr	88Ra	アクチニド元 素 89-91	82Th	83Pa	(84U)	85Ac		86Rn

ランタニド元素 57-71
 アクチニド元素 89-91
 92La 93Ce 94Pr 95Nd 96Pm 97Sm 98Eu 99Gd 100Tb 101Dy 102Ho 103Er 104Tm 105Yb 106Lu
 107Ac 108Th 109Pa 110U 111Np 112Pu 113Am 114Cm 115Bk 116Cf

Abasin. Acetyl-diethylbromoacetyl-urea, Acetylcarbamyl. アバシン ($C_8H_{15}Br$) $ClBrCONHCONHCOCH_3$ (279.14) [109°] 溶 H_2O ±; $EtOH$, $AcOEt$ ∞ 用途 鎮静剤, 催眠剤 文献 B-III, 20.

Abietic Acid, Sylvic Acid, アビエチン酸 ($C_{20}H_{30}O_2$) (262.44) [171-174°] (d_4^{20} -102° 溶 H_2O -; $EtOH$, C_6H_6 , $CHCl_3$, Et_2O , Me_2CO , CS_2 , 稀薄+ 製法 ロジン を $AcOH$ 又は濃 HCl と熱し, 或は高度減圧で 200-210°

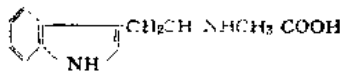


CH_3COOH で蒸溜して得る。市販のアビエチン酸はロジン酸といわれるものの混合物で, 主にアビエチン酸, ビマリニン酸, サビニン酸, ビロアビエチン酸などよりなる。用途 エステルはラッカー, ワニス, 可塑剤に用いる。ナトリウム塩は紙のサイズに, 洗滌石鹼にまぜる。マンガノ, コバルト塩はペイント油, ワニスの乾燥剤 文献 Ruzicka, et al., *Helv.*, 15, 1300 (1932).

Abietin → **Coniferin**

Abraetol → **Asaprol**

Abrine, アブリン ($C_{12}H_{13}O_2N_2$) (218.25) 柱晶 [295°, 分解] (d_4^{20} -14° (稀塩酸) 溶 (100 $MeOH$) 稀酸, 稀塩+ H_2O ±, Et_2O -.



Abrus precatorius L. (トウアズキ)の種子のアルカロイド 文献 星野, *J. med.*, 520, 31 (1935).

Abrodil → **Sodium Iodomethanesulfonate**

Abrotanine → **Abroline**

Abroline, Abrotanine, アブロチン ($C_{21}H_{35}ON_2$) (318.40) 結晶 *Artemisia abrotanum* L. のアルカロイド 溶 H_2O ±; $EtOH$, 稀酸+ 心臓毒, 防腐性。

Absinthin, Absinthina, アブシンチン ($C_{30}H_{44}O_8$) (528.62) 光沢ある針晶 [68°] =ガヨモギの配糖体 溶 H_2O , 石油ベンジン±; $EtOH$, Et_2O , C_6H_6 , $CHCl_3$, 濃+ 文献 Bourcet, *Bull. soc. chim.*, [3] 19, 387 (1898).

Acaciin, アカシイン ($C_{25}H_{32}O_{13}$) (576.53) 小針晶 (260°, 分解) *Robinia pseudacacia* L. (ヘリエンソユ) の葉の配糖体 溶 H_2O ±, (H_2O)¹⁰⁰+, 有機溶媒± 文献 服部, *Acta Phytichim.*, 2, 90 (1925).

Accoline → **Acetylcholine Chloride**

Acedicon, Dihydrocodeinone Enol Acetate, アセジコン ($C_{20}H_{25}O_4N \cdot HCl$) (341.39) 粉末 [154-156°] 苦味 溶 H_2O -; $EtOH$, Et_2O + 用途 鎮咳剤 文献 Small, et al., *J. Am. Chem. Soc.*, 58, 1487 (1936).

Acenaphthene, Naphthylene-ethylene, peri-Ethylenenaphthalene, アセナフテン ($C_{12}H_{10}$) (154.20) [95°] (278°) d 1.038 n_D^{20}



1.6048 重油溜分(ユールタール)にある 溶 H_2O -; (31 $EtOH$), (56 $MeOH$), (5 $PhCH_3$), $AcOH$, 石油ベンジン, CS_2 + 文献 B-V, 586. ビタラート [161°].

Acenaphthenequinone, アセナフテンキ



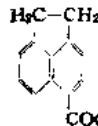
ノン ($C_{12}H_6O_2$) (182.17) 黄色針晶 (261°) 溶 濃 C_6H_6 , 濃 $PhCH_3$ +; $EtOH$, $AcOH$ ± 文献 B-VII, 744; *Org. Syn.*, 24, 1. モノオキシム 柱晶 [230°], ジオキシム 柱晶 [222°].

Acenaphthenol-7, アセナフテノール-7



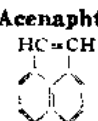
$H_2C-CHOH$ ($C_{12}H_{10}O$) (170.20) [144.5-145.5°] 文献 *Org. Syn.*, 21, 1.

β -3-Acenaphthenylcarbonylpropionic Acid, β -3-アセナフテニルカルボニルプロピオン酸 ($C_{18}H_{14}O_3$) (254.27) [206-208°, 分解]



H_2C-CH_2 文献 *Org. Syn.*, 20, 1.

Acenaphthylene, アセナフチレン ($C_{12}H_8$)



$HC=CH$ (152.18) 黄色柱晶 [92-93°] 溶 $EtOH$, Et_2O , ベンジン++ 文献

B-V, 625.

Acetal, Acetaldehyde Diethylacetal, Ethylidene Diethyl Ether, アセタール $\text{CH}_3\text{CH}(\text{OC}_2\text{H}_5)_2$ (118.17) (103°) d_4^{20} 0.846 n_D^{20} 1.3819 溶 EtOH , Et_2O ; (18 H_2O) + 製法 痕跡の酢酸又は無水塩化カルシウムの存在でアセトアルデヒドとアルコールより得る 用途 催眠剤, 鎮静剤, 溶媒 文献 B-I, 608; *Org. Syn., Coll. Vol. I*, 1.

Acetaldehyde, Ethanal, アセトアルデヒド CH_3CHO (44.23) [-121°] (21°) d_4^{18} 0.798 n_D^{20} 1.3316 溶 H_2O , EtOH , Et_2O ∞ 製法 アセチレンに水の添加, アルコールの酸化 用途 ペラアルデヒド, 酢酸, フェノール樹脂製品の製造 文献 B-I, 594, フェニルヒドラゾン [98-101°], セミカルバゾン (162°)

Acetaldehyde Ammonia, アセトアルデヒドアンモニア $\text{CH}_3\text{CH}(\text{OH})\text{NH}_2$ (61.08) [97°] 溶 H_2O ∞, Et_2O - 製法 アセトアルデヒドにアンモニアを通ず 用途 アセトアルデヒドの精製, 有機合成 文献 B-XXVI, 7.

Acetaldehyde Oxime → Acetaldoxime

Acetaldehyde Sodium Bisulfite, アセトアルデヒド亜硫酸水素ナトリウム附加物 $\text{CH}_3\text{CH}(\text{OH})\text{SO}_3\text{Na}$ (148.12) 溶 H_2O +, EtOH - 製法 アセトアルデヒドに亜硫酸水素ナトリウムを作用

Acetaldehyde → Aldol

Acetaldoxime, Acetaldehyde Oxime, Ethylidenehydroxylamine, アセトアルドキシム $\text{CH}_3\text{CH}:\text{NOH}$ (59.07) [47°] (115°) 溶 H_2O , EtOH , Et_2O ++ 製法 アセトアルデヒドにヒドロキシルアミンを作用 文献 B-I, 608.

Acetamide, アセトアミド CH_3CONH_2 (59.07) [81-82°] (222°) d 1.159 溶 (0.5 H_2O), (2 EtOH), C_6H_6 + 製法 酢酸アンモニウムの蒸溜 用途 溶媒, メチルアミンの合成, アルコールの変性 文献 B-II, 175; *Org. Syn., Coll. Vol. I*, 3.

Acetamidine Hydrochloride, 塩酸アセトアミジン $\text{CH}_3\text{C}(\text{NH})\text{NH}_2 \cdot \text{HCl}$ (94.55) [167°] 溶 H_2O ++, EtOH +, Me_2CO , Et_2O - 製法 無水アルコール中でアセトニトリルに塩酸ガス次にアンモニアを作用 文献 B-II, 185; *Org. Syn., Coll. Vol.*

I, 5.

p-Acetamidobenzaldehyde Thiosemicarbazone → Thioacetosone

p-Acetamidobenzenesulfinic Acid,

p-アセトアミドベンゼンスルフィン酸

$\text{p-CH}_3\text{CONHC}_6\text{H}_4\text{SO}_2\text{H}$ (199.23) [155°, 分解] 文献 *Org. Syn., Coll. Vol. I*, 7.

p-Acetamidobenzenesulfonyl Chloride,

p-アセトアミドベンゼンスルホン酸クロリド

$\text{p-CH}_3\text{CONHC}_6\text{H}_4\text{SO}_2\text{Cl}$ (233.68) 針晶 [149°] 溶 EtOH , Et_2O , AcOH +; C_6H_6 ± 製法 アセトアニリドとクロルスルホン酸の反応 文献 B-XIV, 718; *Org. Syn., Coll. Vol. I*, 8.

α-Acetamidocinnamic Acid, α-アセトアミド桂皮酸

$\text{C}_6\text{H}_5\text{CH}:\text{C}(\text{NHCOCH}_3)\text{COOH}$ (205.21) [191-192°, 分解] 溶 H_2O + 文献 B-X, 688; *Org. Syn.*, 19, 1.

Acetamidotoluene → Acetotoluidide

Acetanilide, Antifebrin, Acetylani-

line, アセトアニリド $\text{C}_6\text{H}_5\text{NHCOCH}_3$ (135.16) [113-115°] (304°) d 1.21 溶 1g が (185cc H_2O), (22cc H_2O)¹⁰⁰, (47cc C_6H_6), (18cc Et_2O), (3.4cc EtOH) +; 石油-ベンゼン ± 用途 解熱剤; 医薬, 染料の製造 文献 B-XII, 297.

p-Acetanilide, p-Acetanilide, Me-

thacetin, p-Methoxyacetanilide, p-アセトアニシド

$\text{p-CH}_3\text{CONHC}_6\text{H}_4\text{OCH}_3$ (165.19) [129-131°] 溶 H_2O ±; EtOH , Me_2CO , CHCl_3 + 用途 解熱剤 文献 B-XIII, 461.

Acetannin → Acetylannic Acid

Acetarsone → Stovarsol

Acetic Acid, Ethanoic Acid, Methane-

carboxylic Acid, 酢酸 $\text{CH}_3\text{CO}_2\text{H}$ (60.05)

[16.7°] (118°) d_4^{20} 1.049 n_D^{20} 1.3718 溶

H_2O , EtOH , Et_2O , グリセリン, CHCl_3 ,

C_6H_6 ∞ 製法 アセトアルデヒドの酸化 用途

溶媒, 食酢, 香料, 染料, アセトンの製

造; 塩化アセチル, 無水酢酸の合成, 氷酢酸

は96%以上の酢酸 文献 B-II, 96.

Acetic Anhydride, 無水酢酸 $(\text{CH}_3\text{CO})_2\text{O}$

(102.09) [-73°] (139°) d_4^{15} 1.086 溶

Et_2O + 製法 ケテンに酢酸の附加, 酢酸ソ-

ードと塩化アセチルの反応 文献 B-II, 166.

Acetic Ether → Ethyl Acetate

ドラゾン (250°), セミカルバゾン (193°), オキシム (50°).

Acetosal → Acetylsalicylic Acid

Acetosalic Acid → Acetylsalicylic Acid

Acetosalin → Acetylsalicylic Acid

Acetosulfamine, N-Acetylsulfanilamide, アセトスルファミン $p\text{-H}_2\text{NC}_6\text{H}_4\text{-SO}_2\text{NHCOCH}_3$ (214.24) (182-185°) 溶 H_2O , EtOH + 用途 化学療法剤

2-Acetothienone → Methyl 2-Thienyl Ketone

o-Acetotoluidide, o-Acetotoluide, o-Tolylacetamide, Aceto-o-aminotolene, o-アセトトルイジド $o\text{-CH}_3\text{C}_6\text{H}_4\text{NHCOCH}_3$ (149.09) (110°) (296°) 溶 H_2O ±; EtOH, CHCl_3 , Et_2O + 製法 o-トルイジンのアセチル化 文献 B-XII, 792.

m-Acetotoluidide, m-アセトトルイジド (65.5°) (303°) 溶 H_2O ±; EtOH, Et_2O + 文献 B-XII, 800.

p-Acetotoluidide, p-アセトトルイジド (153°) (307°) 溶 H_2O ±; EtOH, Et_2O , AcOEt, AcOH + 文献 B-XII, 920.

Acetovanillon → Apocynin

Acetoxime, Acetone Oxime, アセトオキシム $(\text{CH}_3)_2\text{C}=\text{NOH}$ (73.09) 結晶 (60°) (134.8°, 728mm) 昇華性 d_4^{20} 0.9113 溶 H_2O , EtOH, Et_2O , 石油エーテル ∞ 製法 ヒドロキシアミンの水溶液をアセトンと攪りエーテルで抽出 文献 Org. Syn., 3, 81.

1-Acetoxy-3-naphthaldehyde, 1-アセトキシ-3-ナフトアルデヒド $\text{C}_{10}\text{H}_7\text{CHO}(\text{OOCCH}_3)$ (214.21) (112-111°) 文献 Org. Syn., 21, 87.

Acetozone, Acetyl Benzoyl Peroxide, Benzozone, アセトゾン $\text{C}_6\text{H}_5\text{COOCOCH}_3$ (180.15) (36-37°) (150°, 19mm) 溶 CCl_4 , CHCl_3 , Et_2O + 用途 殺菌剤, 酸化剤 文献 B-IX, 179.

Acet-Theocin-Sodium → Theophylline Sodium Acetate

Aceturic Acid, Acetylglycine, アセトウル酸 $\text{CH}_3\text{CONHCH}_2\text{CO}_2\text{H}$ (117.10) (207-208°) 文献 Org. Syn., 19, 4.

Acetylacetanilide, Acet-acetanilide, アセチルアセトアニリド $\text{C}_6\text{H}_5\text{NHCOCH}_2\text{COCH}_3$ (177.20) 針晶又は板晶 (85°) エノ

ル形は不安定 溶 H_2O ±; EtOH, CHCl_3 , Et_2O , 温 C_6H_6 , 温石油ベンジン, 酸 + 用途 ビラゾロン, ビリミジンなどの合成 文献 B-XII, 518; Org. Syn., 21, 4. オキシム (125°).

Acetylacetone, 2,4-Pentanedione, Diacetylmethane, アセチルアセトン $\text{CH}_3\text{COCH}_2\text{COCH}_3$ (100.11) (-23°) (139°) d_4^{20} 0.976 n_D^{20} 1.4512 溶 EtOH, C_6H_6 , CHCl_3 , Et_2O , Me_2CO , AcOH ∞; (8 H_2O) + 製法 酢酸エチルとアセトンをナトリウムの作用で縮合 文献 B-1, 777; Org. Syn., 20, 6.

Acetylaminoozotoluene → Azodermin
p-Acetylaminobenzaldehyde Thiosemicarbazone → Thioacetosone

Acetylaminohydroxyphenylarsonic Acid → Stovarsol

Acetylaniline → Acetanilide

Acetylbenzene → Acetophenone

Acetylbenzoin, アセチルベンゾイン $\text{C}_6\text{H}_5\text{CH}(\text{OOCCH}_3)\text{COC}_6\text{H}_5$ (254.27) (81.5-82.5°) 文献 Org. Syn., 12, 1.

Acetylbenzoyl, 1-Phenyl-1,2-propanedione, Methylphenylglyoxal, アセチルベンゾイル $\text{CH}_3\text{C}(\text{OOCCH}_3)\text{C}_6\text{H}_5$ (148.15) 黄色油 (114-116°, 20mm) d_4^{20} 1.0065 溶 H_2O ± 文献 B-VII, 677; Org. Syn., 23, 1.

Acetyl Benzoyl Peroxide → Acetozone

Acetyl Bromide, 臭化アセチル CH_3COBr (122.96) 発煙性液体 (-96°) (81°) d 1.52 H_2O , EtOH で分解 溶 Et_2O , CHCl_3 , C_6H_6 ∞ 文献 B-II, 174.

Acetylcarbromal → Abasin

Acetyl Chloride, 塩化アセチル CH_3COCl (78.50) 刺激臭発煙性液体 (-112°) (52°) d 1.304 n_D^{20} 1.3898 H_2O , EtOH で分解 溶 C_6H_6 , CHCl_3 , Et_2O , AcOH, 石油ベンジン ∞ 製法 塩の存在で酢酸と塩素の反応, 酢酸とクロロホルムを酸塩または酢酸ナトリウムと塩化スルファルの反応 用途 アセチル化剤 文献 B-II, 173.

Acetylcholine Bromide, Pragmoline, 臭化アセチルコリン $(\text{CH}_3)_3\text{NBr}(\text{CH}_2)_3\text{OOCCH}_3$ (226.12) 結晶性結晶, 温水, 濃により分解 溶 H_2O , EtOH +; Et_2O -, 密栓保存 用途 副交感神経刺激剤 文献 B-IV, 281.

Acetylcholine Chloride, Acecoline, 塩

化アセチルコリン $(\text{CH}_3)_3\text{NCl}(\text{CH}_2)_2\text{OOC}-\text{CH}_3$ (181.66) 吸湿性結晶。温水、油により分解 溶 H_2O , $\text{EtOH}++$; $\text{Et}_2\text{O}-$ 用途 副交感神経刺激剤 文献 B-IV, 281.

Acetyl(diphenyl)amine $\rightarrow$ Diphenylacetamide

Acetylene, Ethyne, アセチレン $\text{CH}\equiv\text{CH}$ (26.04) $[-81^\circ]$ $[-84^\circ]$ 溶 H_2O , AcOH , EtOH , Et_2O , C_6H_6 , Me_2CO は 15° , 1 気圧で 25 容, 12 気圧で 300 容のアセチレンを溶す 製法 カーバイドと水の反応, メタンの熱分解 用途 燈用, 酸素アセチレン溶用, アセトアルデヒド, 酢酸, 酢酸ビニル, 塩化ビニルなどの合成 文献 B-I, 228.

Acetylenecarbamide $\rightarrow$ Acetyleneurea

Acetylene Dibromide, 1, 2-Dibromoethylene, 二臭化アセチレン CHBr:CHBr (185.87) シス型 $[-53^\circ]$ $(110^\circ, 754\text{mm})$ $d_4^{25} 2.285$ トランス型 $[-6.5^\circ]$ (108°) $d_4^{25} 2.267$ 空気, 湿気, 光で徐々に分解 溶 $\text{H}_2\text{O}-$, 多くの有機溶媒+ 文献 B-I, 190.

Acetylenedicarboxylic Acid, アセチレンジカルボン酸 $\text{HO}_2\text{C}\equiv\text{CCO}_2\text{H}$ (114.06) (178°) 溶 H_2O , EtOH , $\text{Et}_2\text{O}+$ 文献 B-II, 801; *Org. Syn.*, 18, 3.

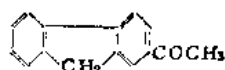
Acetylene Dichloride, 1, 2-Dichloroethylene, Dioform, 二塩化アセチレン CHCl:CHCl (96.95) シス型 $(59.8^\circ, 763\text{mm})$ $d_4^{1.25}$ トランス型 (60.3°) $d_4^{1.265}$ 空気, 湿気, 光で徐々に分解 溶 $\text{H}_2\text{O}-$; EtOH , Et_2O , 多くの有機溶媒+ 用途 溶媒 文献 B-I, 187.

Acetylene Tetrabromide $\rightarrow$ Tetrabromoethane

Acetylene Tetrachloride $\rightarrow$ Tetrachloroethane

Acetyleneurea, Acetylenecarbamide, Glycoluril, アセチレン尿素 $\text{C}_4\text{H}_2\text{O}_2\text{N}_4$ (142.12) $[300^\circ]$ 分解 溶 $\text{H}_2\text{O}+$; 湿 H_2O , 温熱, 湿 $\text{NH}_4\text{OH}+$ 製法 アラントインにナトリウムアマルガムの作用, 又, 塩酸の存在でグリオキサールと尿素より得る 文献 B-XXVI, 441.

2-Acetylfluorene, 2-Fluorenyl Methyl Ketone, 2-アセチルフルオレン $\text{C}_{15}\text{H}_{12}\text{O}$



(208.25) $[123-129^\circ]$ 文献 *Org. Syn.*, 28, 3.

Acetylformic Acid $\rightarrow$ Pyruvic Acid

Acetyl Iodide, 天化アセチル CH_3COI (180.96) 発煙性液体 (103°) d 1.98 H_2O , EtOH で分解 溶 C_6H_6 , $\text{Et}_2\text{O}+$, 密栓保存 文献 B-II, 174.

Acetyliodosalicylic Acid, アセチルオードサリチル酸 $\text{C}_9\text{H}_7\text{O}_4\text{I}$ (306.07) $[175^\circ]$ 溶 $\text{H}_2\text{O}-$; EtOH , $\text{Et}_2\text{O}+$ 文献 B-X', 49.

Acetylketene $\rightarrow$ Diketene

Acetylmandetyl Chloride, 塩化アセチルマンデリル $(\text{C}_6\text{H}_5\text{CH}(\text{OCOCH}_3)\text{COCl}$ (212.62) $(125-130^\circ, 10\text{mm})$ 文献 *Org. Syn. Coll. Vol.*, 1, 12.

Acetyl- β -methylcholine Chloride $\rightarrow$ Mechoyl

9-Acetylphenanthrene, Methyl 9-Phenanthryl Ketone, 9-アセチルフェナントレン $\text{C}_{18}\text{H}_{12}\text{O}$ (220.26) $[73-74^\circ]$ 文献 *Org. Syn.*, 28, 6.

Acetylphenol $\rightarrow$ Phenyl Acetate

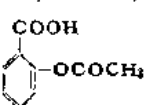
Acetylphenylhydrazine, Hydracotin, Pyrocin, アセチルフェニルヒドラジン $\text{C}_6\text{H}_5\text{NHNHCOCH}_3$ (150.18) (128°) 溶 H_2O , $\text{Et}_2\text{O}+$; 湿 H_2O , $\text{EtOH}+$ 文献 B-XV, 241.

Acetylphenylsalicylate $\rightarrow$ Phenyl Acetylsalicylate

Acetylpropionic Acid $\rightarrow$ Levulinic Acid

Acetylresorcinol $\rightarrow$ Resorcinol Monoacetate

Acetylsalicylic Acid, Aspirin, Acetosol, Acetosalin, Acetosalic Acid, Acetophen, Salatin, Salacotin, アセチルサリチル酸 $\text{C}_9\text{H}_8\text{O}_4$ (180.15)



(135°) 溶 1g が $(300\text{cc } \text{H}_2\text{O})$, $(5\text{cc } \text{EtOH})$, $(17\text{cc } \text{CHCl}_3)$, $(10-15\text{cc } \text{Et}_2\text{O})+$ 用途 解熱鎮痛剤 文献 B-X, 67.

Acetylsalol $\rightarrow$ Phenyl Acetylsalicylate

N-Acetylsulfanilamide $\rightarrow$ Acetosulfamine

Acetyltannic Acid, Diacetyltannic Acid, Tannyl Acetate, Acetannin, Tannigen, アセチルタンニン酸 黄色又は灰色

の粉末 溶 H_2O , $EtOH$ ±; $AcOEt$, 礫砂及磷酸ナトリウム溶液+ 製法 タンニン酸に無水酢酸, ついで塩化アセチルを作用 用途 腸収斂劑

Acetylthymol, **Thymyl Acetate**, **アセチルチモール** $(CH_3)_2CHC_6H_3(CH_3)OCO-CH_3$ (192.25) 黄色油状 (242-243°) 溶 H_2O -; $EtOH$, C_6H_6 , $CHCl_3$, Et_2O ∞ 用途 殺菌駆虫劑 文獻 B-VI, 537.

Achilleic Acid → **Aconitic Acid**

Achilleine, **アキレイン** $C_{20}H_{38}O_{15}N_2$ (546.52) 褐色粉末 *Achillea moschata* 及 *A. Millefolium* L. (セイヨウノコギリソウ) のアルカロイド 溶 H_2O +; $EtOH$, Et_2O - 用途 収斂劑 文獻 *Planta, Ann.*, 155, 153 (1870).

Acid Magenta → **Fuchsine Acid**

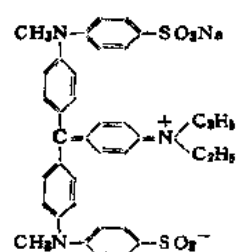
Acidogen → **Urea**

Acidol → **Betaine Hydrochloride**

Acid Rubin → **Fuchsine Acid**

Acidulin → **Glutamic Acid Hydrochloride**

Acid Violet 7B, **Sodium Salt of Diethylidimethyldiphenyltriiminotriphenylcarbinol Disulfonic Acid Anhydride**,



アシドバイオレット7B $C_{37}H_{36}O_6N_2S_2Na$ (705.81) 紫色粉末 溶 H_2O , $EtOH$ + (深青色) 用途 ベタクリアの染色

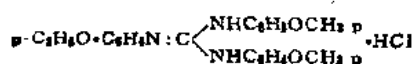
Acid Yellow D → **Tropaeolin OO**

Acid Yellow S → **Naphthol Yellow S**

Acocantherin → **Quabain**

Acocanthin, **Amorphous Ouabain**, **アコカンチン** $C_{27}H_{36}O_{12}$ (626.72) 苦味粉末 *Acocanthera schimperi* の配糖体 溶 H_2O , $EtOH$ + 用途 強心劑 文獻 Faust, *Arch. exptl. Path. Pharmacol.*, 48, 272 (1902); 49, 447 (1903).

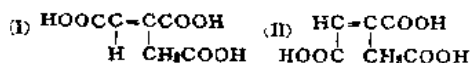
Acotin, **Guanicaine**, **アコイン** $C_{12}H_{25}O_3N_3 \cdot HCl$ (427.92) [176°] 溶 (16 H_2O) +,



$EtOH$ ∞ 用途 局所麻酔劑 文獻 B-XIII, 487

Aconine, **アコニン** $C_{25}H_{41}O_3N$ (499.59) [132°] $[\alpha]_D^{25} + 23^\circ$ 苦味粉末 *Aconitum Napellus* L. の球根(アコニット根)のアルカロイド, 又アコニチンの分解産物 溶 H_2O , $EtOH$, $CHCl_3$ +; Et_2O - 文獻 Craig, et al., *J. Biol. Chem.*, 154, 298 (1944). 塩酸塩 [169-170°, 分解] $[\alpha]_D - 7.7^\circ$

Aconitic Acid, **Equisetic Acid**, **Citridic Acid**, **Achilleic Acid**, **アコニット酸** $C_8H_6O_6$ (174.11) シス型(I) [125°] トランス型(II) [194-195°] 溶 H_2O , $EtOH$ +;



Et_2O - 文獻 B-II, 849; *Org. Syn.*, 17, 1.

Aconitine, **Acetylbenzoylaconine**, **アコニチン** $C_{34}H_{55}O_{11}N$ (647.74) [204°] $[\alpha]_D^{25} + 17^\circ$ ($CHCl_3$) *Aconitum Napellus* L. の球根のアルカロイド, 猛毒 溶 1g が (3300cc H_2O), (28cc $EtOH$), (7cc C_6H_6), (65cc Et_2O), 稀酸+ 文獻 真島, *Proc. Imper. Acad. Tokyo*, 5, 415 (1929). 塩酸塩 $C_{34}H_{55}O_{11}N \cdot HCl$ (682.19) [約 170°] $[\alpha]_D^{35}$ 猛毒 溶 H_2O , $EtOH$ + 硝酸塩 $C_{34}H_{55}O_{11}N \cdot HNO_3$ (708.74) [200° 分解] $[\alpha]_D^{20} - 35^\circ$ (2% H_2O) 溶 1g が (10cc 熱 H_2O), $EtOH$ +.

Aconitine Amorphous, **無定形アコニチン** 粉末 アコニット根より得るアルカロイドの混合物, 猛毒 溶 H_2O -; $EtOH$, $CHCl_3$, 稀酸+.

Aconitine, **English or Nepal** → **Pseudoaconitine**

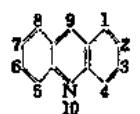
Acopyrine → **Antipyrine Acetylsalicylate**

Acorn Sugar → **Quercitol**

Acramine Yellow → **9-Aminoacridine**

Acracanthine → **Pseudoaconitine**

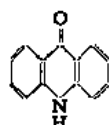
Acridine, **アクリジン** $C_{13}H_9N$ (179.20) [約 110°] (>360°) 100° で昇華, コールター



ル中の一塩基 溶 H_2O ±; $EtOH$, C_6H_6 , Et_2O , CS_2 ∞ 用途 染料, 医薬の製造 文獻 B-XX,

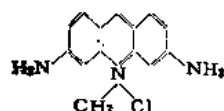
459.

Acridone, **アクリドン** $C_{13}H_9ON$ (195.21)



[354'] 溶 H_2O -, 熱
EtOH+, Et₂O+ 文獻
B-XXI, 935; *Org. Syn.*,
19, 6.

Acridine, Euflavine, Trypaflavine
Neutral, Neutroflavine, 3,6-Diamino-
acridine 10-Methochloride, 3,6-Diamino-



10-methyl-
acridinium
Chloride,
アクリフラ

ビン $C_{14}H_{14}N_3Cl$ (259.73) 赤褐色粉末 溶
($8 H_2O$)+, EtOH[±]; $CHCl_3$, Et₂O, 油-
用途 殺菌剤 塩酸塩 "Acridine" B.
P., Trypaflavine, Flavine, $C_{14}H_{14}N_3Cl$ ·
HCl (296.19) 赤褐色粉晶 溶 ($3 H_2O$), (3
EtOH)+; $CHCl_3$, Et₂O, 油-

Acridinamin → Quinaerine

Acridinol, 2-Ethoxy-6,9-diaminoacridi-
nium Lactate, Rivanol, アクリノール
 $C_{18}H_{21}O_4N_3$ (343.27) 黄色結晶 [240°, 分解]
溶 (100 EtOH)¹⁰⁰, (15 H_2O), (9 H_2O)¹⁰⁰+

Acrolein, Propenal, Acrylaldehyde,
Acrylic Aldehyde, アクロレイン $CH_2=$
 $CHCHO$ (56.06) 刺激臭液体 [-87.5°] (52°)
 d^{20}_D 0.8506 n^{20}_D 1.3998 溶 ($3 H_2O$), EtOH,
Et₂O+ 製法 グリセリンを無水硫酸マグネ
シウムと加熱 文獻 B-I, 725; *Org. Syn.*,
Coll. Vol. I, 14. セミカルボゾン [171°].

Acrolein Acetal, アクロレインアセター
ル $CH_2:CHCH(OC_2H_5)_2$ (128.18) (40°, 18
mm) d^{20}_D 0.8543 溶 EtOH, Et₂O, H_2O ±
文獻 B-I, 727; *Org. Syn.*, 25, 1.

Acrylaldehyde → Acrolein

Acrylic Acid, Vinylformic Acid, ア
クリル酸 $CH_2:CHCOOH$ (72.06) [13°]
(141°) d^{20}_D 1.06 n^{20}_D 1.4224 溶 H_2O , EtOH∞
製法 エチレンシアノヒドリンの加水分解,
ついで脱水, また濃 HCl と $Ni(CO)_4$, アセ
チレンより合成 (Beppe 反応) 文獻 B-II,
397.

Actinium, アクチニウム 元素記号 Ac
原子番号 89 原子量 227 半減期 (半減期 13.5
年) により Th となる.

Actinon → Radon

Activated Charcoal → Charcoal, Acti-

vated

Adalin → Carbromal

Adamon, Bornyl Dibromodihydrocin-
namate アダモン $C_{16}H_{25}(CHBr)_2COOC_{10}-$
 H_{17} (444.21) 粉晶 [73°] 溶 H_2O -, 湿 Et-
OH, $CHCl_3$, Et₂O+ 用途 鎮静剤 文獻
B-IX', 202.

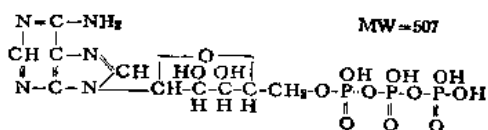
Adams' Platinum Oxide Catalyst,
アダムス酸化白金触媒 $PtO_2 \cdot H_2O$ (245.25)
黒色 製法 塩化白金酸を $NaNO_3$ 熔融 用
途 水酢酸, アルコールなどの溶媒中 1 気圧
或はそれ以上で水素添加の触媒, 白金黒に還
元され, これが触媒となる 文獻 邦訳 *Org.*
Syn., 506.

Adansonin, アダンソニン $C_{24}H_{36}O_{28}$
(1573.13) *Adansonia digitata* L. の皮の苦味
質 溶 H_2O -, EtOH, Et₂O+ 文獻 Walz,
Jahrb. prakt. Pharm., 24, 100, 242 (1852).

Adeniiin, アデニイン $C_{15}H_{12}N_6$ (384.41)
淡黄色の粉末 [84-85°] (α)_D +134° (EtOH)
Adenium hongkel の果汁の苦味質 溶 H_2O
-, EtOH+ 文獻 Leprince, *Bull. sci.*
pharmacol., 18, 337 (1911).

Adenine, 6-Aminopurine アデニン
 $C_5H_5N_5 \cdot 3H_2O$ (189.18) 針晶 [360-365°, 分
解] 220° で昇華 溶
 H_2O , EtOH, $CH-$
 Cl_3 , Et₂O-, (40
 H_2O)¹⁰⁰, 酸, 油+ 文獻 B-XXVI, 420. ベ
ンゾイル誘導体 [234°], 硫酸塩 ($C_5H_5N_5$)₂·
 $H_2SO_4 \cdot 2H_2O$ (404.36) 溶 (150 H_2O)+,
EtOH-.

Adenosine Triphosphate, ATP, アデ
ノシン三リン酸



糖の代謝の場合にリン酸の移動に重要な役目
をする物質, 筋肉から抽出される 文獻 Kerr,
J. Biol. Chem., 139, 121 (1941); Needham,
Biochem. J., 36, 113 (1942).

Adeps → Lard

Adepsine Oil → Petrolatum, Liquid

Adermin → Vitamin B₆

Adipic Acid, アジピン酸 $HOOC(CH_2)_4-$

COOH (146.14) 柱晶 [153°] (265°, 100mm) 溶 (70 H₂O) +, EtOH ∞ , Et₂O $\pm$ 製法 シクロヘキサノールの酸化 用途 ナイロンの製造 文献 B-II, 649; *Org. Syn.*, 13, 110.

Adkins Copper Chromite Catalyst, アドキンス亜クロム酸銅触媒 100-250°, 100-350 気圧の水素によりアルデヒド, ケトンエステルをアルコールに還元する触媒 文献 *J. Am. Chem. Soc.*, 53, 1091 (1931); 70, 3121 (1948); 71, 1180 (1949).

Adlumidine, アドルミジン C₁₈H₁₆O₆N (354.33) 葉晶 (234°) *Adlumia cirrhosa* Rafin. の幹のアルカロイド 溶 H₂O-; EtOH, 稀酸+ 文献 Manske, *et al.*, *Can. J. Research*, 8, 219, 404 (1933).

Adlumine, アドルミン C₂₁H₂₁O₈N (383.39) [187-188°] (α)_D +40° (稀酸) *Adlumia cirrhosa* のアルカロイド 溶 H₂O-; 稀酸, EtOH, CHCl₃+ 文献 上記.

Adonidin, アドニジン 淡褐色, 吸湿性の粉末 *Adonis vernalis* L. (洋種フクジュソウ) などの葉より得られるアドニン酸のグルコシドの混合物 溶 H₂O, EtOH, AmOH ∞ ; CHCl₃, Et₂O- 用途 強心剤

Adonite, Adonitol, Ribitol, アドニット C₅H₁₂O₆ (152.15) [102°] *Adonis vernalis* に存在, L-リボースをナトリウムアマルガムで還元して得られる 溶 H₂O, 温 EtOH ∞ ; Et₂O- 文献 B-I, 530.

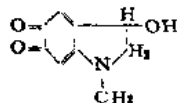
Adonitol $\rightarrow$ Adonite

Adrenalin $\rightarrow$ Epinephrin

Adrenalone $\rightarrow$ Kephrene

Adrenamine $\rightarrow$ Epinephrin

Adrenochrome, アドレノクロム C₉H₇O₃N (179.17) $\frac{1}{2}$ 分子結晶水, 赤色結晶 [115-120°, 分解] 溶 H₂O ∞ , EtOH+; Et₂O,



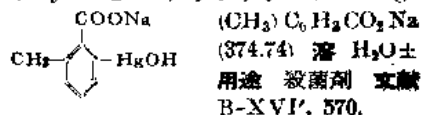
C₆H₅-, 生物体内でアドレナリンから変化してできる物質, 酸化還元に与る 文献 Green, *et al.*, *Biochem. J.*, 31, 593 (1937). オキシム (278°).

Aethon $\rightarrow$ Ethyl Orthoformate

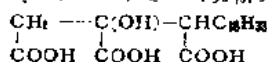
Afenil, Calcium Chloride-Urea, アフェニル CaCl₂·4CO(NH₂)₂ (351.23) [158-

160°] 溶 H₂O ∞ 用途 利尿

Afridol, Sodium 6-Hydroxymercuro-2-methylbenzoate, アフリドール HOHg-



Agaricic Acid, Agaric Acid, Laricic Acid, "Agaricin" アガリシン酸 C₂₂H₄₀O₇· $\frac{1}{2}$ H₂O (443.62) [142°, 分解] (無水物).



[α]_D¹⁹ -2° (NaOH). *Fomes officinalis* Fries (エブリ) の成分 溶 H₂O, CHCl₃, Et₂O $\pm$; (H₂O)¹⁰⁰, EtOH, 温 AcOH+ 用途 止汗剤 文献 Thoms, *et al.*, *Ann.*, 357, 145 (1907).

"Agaricin" $\rightarrow$ Agaricic Acid

Agene $\rightarrow$ Nitrogen Chloride

Agmatine, Aminobutylguanidine, アグマチン HN:C(NH₂)NH(CH₂)₄NH₂ (130.19) 麦角や *Ambrosia artemisiifolia* L. (ブタクサ属の1種) の花粉より得るアルカロイド 塩としてのみ得られる 文献 B-IV, 420.

硫酸塩 針晶 [231°] 溶 H₂O+, EtOH干.

Agnin $\rightarrow$ Lanolin Anhydrous

Agoniadin, Plumieride, アゴニアジン C₃₇H₇₂O₃₃ (1285.15) 又は C₃₉H₈₀O₃₅·H₂O (706.64) 苦味結晶 [155-158°] *Plumiera longifolia* の皮の苦味質 溶 H₂O, EtOH, AcOEt+. 文献 Boersma, *Mededel. Lands Plant*, 31, 132 (1899).

Agotan $\rightarrow$ Cinchophen

Agrostemmin, Githagin, アグロステンミン C₁₇H₂₆O₁₀·H₂O (408.39) *Agrostemma githago* L. の種子の配糖体 溶 H₂O, 温 ∞ ; EtOH $\pm$; CHCl₃, Et₂O, 石油ベンゼン-, 溶血毒 文献 Wedekind, *et al.*, *Z. physiol. Chem.*, 155, 122 (1928).

Airoform, Airof $\rightarrow$ Bismuth Iodosubgallate

Ajacine, アジャシネ C₂₁H₄₂NO(OCH₃)₂·H₂O (297.34) 針晶 [142-143°] *Delphinium ajacis* L. の種子のアルカロイド 溶 H₂O-; Et₂O, EtOH+ (青色螢光) 文献 Keller, *et al.*, *Arch. Pharm.*, 251, 207 (1913).

Ajaconine, アジャコニン C₁₇H₂₃ON-

(OH) 結晶 (162-163°) *Delphinium ajacis* L. の種子のアルカロイド 溶 EtOH+.

Ajowan Oil, *Ptychotis Oil*, アジョワン油 d_4^{20} 0.910-0.930 n_D^{20} 1.485-1.510 弱右旋性 *Curum Copticum* の果実を蒸留して得る、約40%のチモールを含む 溶 EtOH, Et₂O + 用途 防腐剤、香料.

Akuamine, アクアミン $C_{20}H_{21}O_7$ N(OH)(OCH₃)(NCH₃) (334.46) (255°) $[\alpha]_D^{25} -67^\circ$ (EtOH) *Picralinia klatianensis* Pierre の種子のアルカロイド 溶 H₂O, EtOH±; 熱 EtOH, CHCl₃, Me₂CO + 文献 Henry, *J. Chem. Soc.*, 136, 2756 (1932).

Alabaster → Calcium Sulfate

Alanine, α -Aminopropionic Acid, アラニン $NH_2CH(CH_3)CO_2H$ (89.09) (264-297°) (不定) 溶 (5 H₂O)+, EtOH±, Et₂O - 製法 α -アミノプロピオニトリルの加水分解、蛋白質の加水分解、天然産は L(+)-アラニン, $[\alpha]_D +2.7^\circ$ 文献 B-IV, 381; *Org. Syn., Coll. Vol. I*, 20.

Alant Camphor → Helenin

Alantin → Inulin

Alantol, Pinguin, アラントール $C_{10}H_{10}O$ (152.23) 黄色又は黄褐色の液体 (200°) *Inula Helenium* (オウグルマ) の根より得る 溶 H₂O±; EtOH, CHCl₃, Et₂O+.

Alantolactone → Helenin

Alant Starch → Inulin

Albumin, 一群の単蛋白, 水に可溶, 熱により凝固. 例: 血清アルブミン, 卵アルブミン, 乳アルブミン.

Albumin Tannate, Tannin Albuminate, Albitannin, Tannalbin, タンニン酸アルブミン 黄白色粉末, 50% タンニン 溶 H₂O, EtOH, Et₂O, CHCl₃- 製法 卵白水溶液にタンニン酸水溶液を加えて生じた沈澱を乾燥して製する 用途 止血剤.

Albitannin → Albumin Tannate

Alchornin, Alkornin, Alkornol, アルコルニン $C_{22}H_{34}O$ (314.49) (205°) $[\alpha]_D +33.8^\circ$ *Bauhinia virginiana* の皮より得る苦味質 溶 EtOH, Et₂O, AcOEt, AcOH, 油+ 文献 Hartwich, et al., *Arch. Pharm.*, 238, 341 (1900).

Alcohol (Anhydrous) → Ethyl Alcohol

Alcohol, Denatured, 変性アルコール

他物を少量混入し飲用に適さぬようにした工業用のエチルアルコール 変性剤 メタノール, 樟腦, アミルアルコール, ガソリン, イソプロピルアルコール, テルピネオール, ペンゼン, アマニ油, アセトン, ニコチン, アニリン染料, エーテル, ビリジン塩基, ケロシン, フタル酸ジエチルなど.

Alcohol, アルデホル 液体 (200-290°) d_4^{20} 0.825 ケロシンの酸化生成物 用途 アルコールの変性.

Aldehyde Ammonia → Acetaldehyde Ammonia

Aldol, Acetaldo, β -Hydroxybutyraldehyde, アルドール $CH_3CH(OH)CH_2CHO$ (88.10) (83°, 20mm) d_4^{20} 1.109 溶 H₂O, EtOH, Et₂O+ 製法 アルカリ性塩類, 塩基の存在でアセトアルデヒドを重合さす 文献 B-I, 824.

Aldoxime → Acetaldoxime

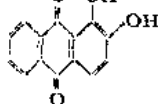
Aleudrin, α, α' -Dichloroisopropyl Carbamate, アレウドリン $NH_2COOCH(CH_2Cl)_2$ (172.02) (82°) 溶 H₂O±; EtOH, C₆H₆, CHCl₃, Et₂O, Me₂CO, 油+ 用途 催眠剤, 鎮静剤 文献 B-III, 29.

Alginic Acid, Algin, Norgine, アルギン酸 褐藻類 Phaeophyceae から得られる酸性高分子化合物 D-mannuronic acid 基からなると考えられる. 中和当量 176-184 用途 紙, 織物のサイズ, 人工象牙の製造.

Algiron → Iron Alginate

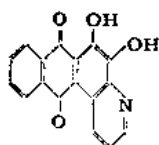
Alival, 3-Iodo-1,2-dihydroxypropane, アリバル $CH_2ICH(OH)CH_2OH$ (202.00) (約49°) 溶 H₂O, EtOH+ 文献 B-I, 475.

Alizarin, 1,2-Dihydroxyanthraquinone, アリザリン $C_{14}H_8O_4$ (240.20) 橙赤色 針晶 (290°) (480°) セイヨウアカネの根の配糖体ルベトリン酸として存す 溶 (300 H₂O)¹⁰⁰, EtOH,



温 MeOH, C₆H₆, Et₂O, AcOH, CS₂, C₅H₅N+ 製法 アントラキノンをもルフェン化してアルカリ熔融 用途 媒染染料 文献 B-VIII, 439. アセチル化物 (182°).

Alizarin Blue, Dihydroxyanthraquinone-quinoline, アリザリン青 $C_{17}H_8O_4N$



(291.26) 暗青色結晶
[約 270°] 溶 H_2O -,
EtOH± 用途 pH
指示薬 0-1.6 (紅-黄);
6.0-7.6 (黄-緑).

Alizarin Bordeaux → Quinizarin

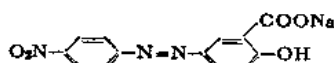
Alizarin Carmine, Alizarin S → Sodium Alizarinsulfonate

Alizarin Yellow C → Gallacetophenone

Alizarin Yellow GG → Salicyl Yellow

Alizarin Yellow R, Sodium p-Nitrobenzeneazosalicylate. アリザリン黄 R

$C_{13}H_8N_2O_5Na$ (309.22) 黄褐色粉末 溶

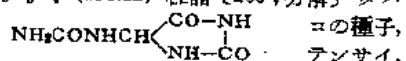


H_2O + 用途 媒染染料 指示薬 (1% 水溶液) pH 10.0 黄, 12.1 赤 文献 B-XVI, 247.

Aljodan, Iodoethyl Allophanate, アルジョダン $NH_2CONHCO_2C_2H_4I$ (258.03) [約 192°, 分解] 溶 H_2O ±, EtOH+

Alkornin, Alkornol → Alchornin

Allantoin, Glyoxyldiureide, Cordianine, 5-Ureidohydantoin, アラントイン $C_4H_6O_3N_4$ (158.12) 柱晶 [238°, 分解] タバ



小麦の芽, 尿膜液にある 溶 H_2O ±; 温 H_2O , EtOH, 滴+ 製法 尿酸の酸化 文献 B-XXV, 474; *Org. Syn., Coll. Vol. II*, 23.

Allene, Propadiene, アレン $CH_2:C:CH_2$ (40.06) [-146°] (-32°) 文献 B-I, 248. 四異化物 [10°] (170°, 80mm).

Allobarbitol → Diallylbarbituric Acid

Allocinnamic Acid, cis-Cinnamic Acid, アロ桂皮酸 $C_9H_8O_2$ (148.15) [68°], $H-C-C_6H_5$ [58°], [42°] 最初のが $H-C-COOH$ 安定 溶 H_2O ± 文献 B-IX, 591.

Allocryptopine, β -Homochelidonine, アロクリプトピン $C_{21}H_{23}O_5N$ (369.40) 針晶 α -[159-160°], β -[169-171°] *Chelidonium majus* (クサノオウ) 等のアルカロイド, クリプトピンの異性体. β - は γ -ホモチエリドニンとも言う 溶 EtOH, $CHCl_3$, Et_2O , AcOEt, 稀酸+ 文献 B-XXVII, 521,

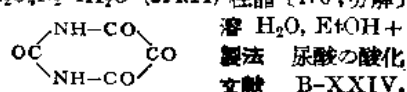
522.

Allomaleic Acid → Fumaric Acid

Allonal, アロナール 52.4% のアミノピリンと 47.6% のアルレートとの混合物 局麻鎮痛剤.

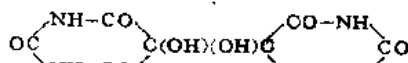
Allophanamide → Biuret

Alloxan, Mesoxalylurea, アロキサン $C_4H_2O_4N_2 \cdot 4H_2O$ (214.14) 柱晶 (170°, 分解)



500; *Org. Syn.*, 23, 3.

Alloxanthin, Uroxin, アロキサンチン $C_8H_6O_3N_4 \cdot 2H_2O$ (322.19) [253-255°, 分解]



溶 H_2O , EtOH, Et_2O ±; 水酸化バリウムで青色沈殿 文献 B-XXVI, 556.

Alloyohimbine, Dihydroxyhimbine, アロヨヒンビン $C_{21}H_{26}O_4N_2 \cdot H_2O$ (372.45) [135-140°] [α] D^{20} -72.7° (C_6H_5N) *Corynanthe Yohimbe* Schum. の皮のアルカロイド, ヨヒンビンの異性体 溶 H_2O -, EtOH, C_6H_5N , 稀酸+ 文献 Hahn, et al., *Ber.*, 60, 689, 707 (1927); Warnat, *Ber.*, 60, 1118 (1927). 塩酸塩 [279°].

Allyl Alcohol, アリルアルコール $CH_2=CHCH_2OH$ (58.08) 刺激臭液体 (96-97°) d_4^{25} 0.857 n_D^{20} 1.4134 有毒 溶 H_2O , EtOH, $CHCl_3$, Et_2O , 石油ベンジン ∞ 製法 グリセリンを硫酸と加熱 文献 B-I, 436; *Org. Syn., Coll. Vol. I*, 34.

Allylamine, 3-Aminopropylene, アリルアミン $CH_2=CHCH_2NH_2$ (57.09) (55-58°) d_4^{25} 0.760 n_D^{20} 1.4186 溶 H_2O , EtOH, Et_2O ∞ 文献 B-IV, 205; *Org. Syn.*, 18, 5. p-トルエンスルホアミド [64°].

Allyl Bromide, 3-Bromopropylene, Bromallylene, 臭化アリル $CH_2=CHCH_2Br$ (120.99) (70-71°) d_4^{20} 1.398 n_D^{20} 1.4656 溶 H_2O -, EtOH, $CHCl_3$, Et_2O , CS_2 , CCl_4 ∞ 文献 B-I, 201; *Org. Syn., Coll. Vol. I*, 24.

Allyl Chloride, 3-Chloropropylene, 塩化アリル $CH_2=CHCH_2Cl$ (76.58) 刺激臭液体 [-136°] (44-45°) d_4^{20} 0.938 n_D^{20} 1.4154